

平和祈念展 in 大分

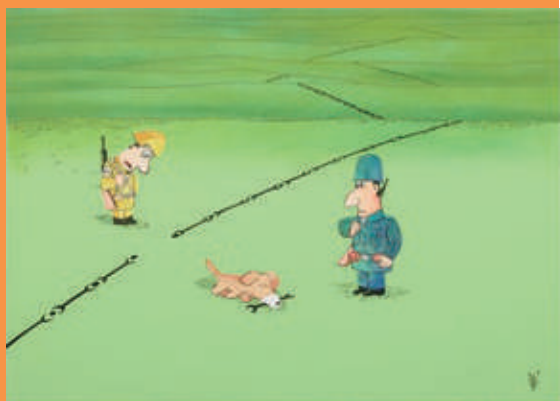
シベリア抑留— 絵画と資料に見る

ラーゲリの記憶



「虜囚」宮崎静夫

特別展示 漫画家たちが描く未来
「2100年8月15日」



「国境がなくなる」森田拳次

2024.6/19(水) - 30(日)

開場時間 10:00 ~ 18:00

会場 大分県立美術館1階 展示室A
(大分県大分市寿町2-1)

入場
無料

主催 平和祈念展示資料館(総務省委託)

後援 大分県、大分県教育委員会、大分市、大分市教育委員会

大分合同新聞社、西日本新聞社、朝日新聞大分総局、読売新聞西部本社、毎日新聞大分支局

NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送

大分ケーブルネットワーク株式会社、エフエム大分、J:COM大分ケーブルテレコム

OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum

同時開催

昭和館「くらしにみる昭和の時代 大分展」／しょうけい館「戦傷病者の労苦を伝える 大分展」

平和祈念展示資料館（東京都新宿区）は、さきの大戦における兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について多くの方に知っていただくため、全国各地で展示会を開催しています。

「平和祈念展in大分」では戦後強制抑留（シベリア抑留）をテーマに、抑留者がラーゲリ（収容所）で使用していた日用品や、帰国後に自身の記憶をもとに描いた絵画をご紹介します。戦争が終わったにもかかわらず、シベリアを始めとする酷寒の地で、厳しい労働を課せられた戦後強制抑留者は約60万人にも上ります。家族との再会を待ちわびながら逆境を生き抜いた彼らの想いと、帰国後も消えることのなかった悲しみに、心をよせてみませんか？

平和祈念展 in 大分
シベリア抑留 — 絵画と資料に見る
ラーゲリの記憶



「収容所の冬景色」佐藤清



ウクライナの収容所から大分に住む家族に届いた
俘虏用郵便葉書



空腹のあまり袖の部分を
パンと交換した防寒外套



特別展示 漫画家たちが描く未来
「2100年8月15日」

戦争を体験した漫画家を中心となって描いた作品群です。
ユーモアと皮肉たっぷりの未来の姿をご覧ください。

「空中都市が実現する。」やなせたかし
「惑星修学旅行」ちばてつや



会場

大分県立美術館1階 展示室A
大分県大分市寿町2-1

JR大分駅府内中央口(北口)から徒歩15分
大分ICから車で10分

